

令和6年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

甲信越ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて10頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 登録基幹技能者の役割に関して、**最も不適當**なものはどれか。

1. 建設工事現場において衛生面で質の高い施工を確保する。
2. 建設工事現場において品質面で質の高い施工を確保する。
3. 建設工事現場においてコスト面で質の高い施工を確保する。
4. 建設工事現場において生産性の向上を図る。

問題 2 登録基幹技能者の地位向上や処遇改善等に関して、**最も不適當**なものはどれか。

1. 優良技能者認定制度の認定を受けることにより、年収が数十万円増加する。
2. 一般社団法人日本建設業連合会は、建設技能労働者の賃金改善を掲げた。
3. 一般社団法人日本建設業連合会は、優良技能者認定制度の普及を推進することとした。
4. 一般社団法人日本左官業組合連合会は、建設技能労働者の人材確保・育成に関する提言を行った。

問題 3 キャリアアップカードの活用に関して、**最も不適當**なものはどれか。

1. 能力評価の要素として「保有資格」をキャリアアップシステムに登録される。
2. 能力評価の要素として職種に応じた「知識」や「技能」等が見える化される。
3. 能力評価の要素として年収等の「給与実績」がキャリアアップシステムに蓄積される。
4. 能力評価基準に合わせてカードが「4色」に色分けされる。

問題 4 登録基幹技能者に求められる職務遂行の全般事項に関して、**最も不適當**なものはどれか。

1. 目標通りに工事を完成させることができる。
2. 他職種との折衝、調整を行い、工事の円滑化を図るとともに、部下の指導、教育を計画的に行うことができる。
3. 技術提案等において部下の積極的な参加を促し、グループ全体の意欲の向上とチームワークづくりができる。
4. 国際政治に係る基本的知識と優れた才能を有し、かつ、リーダー役として、仲間を直接指揮、監督することができる。

問題5 登録基幹技能者の資質に関して、最も**不適當**なものはどれか。

1. 中核的役割を担う。
2. 設計者としての能力を有する。
3. 部下を指揮・指導することができる。
4. 他業種との連絡・調整に努めることができる。

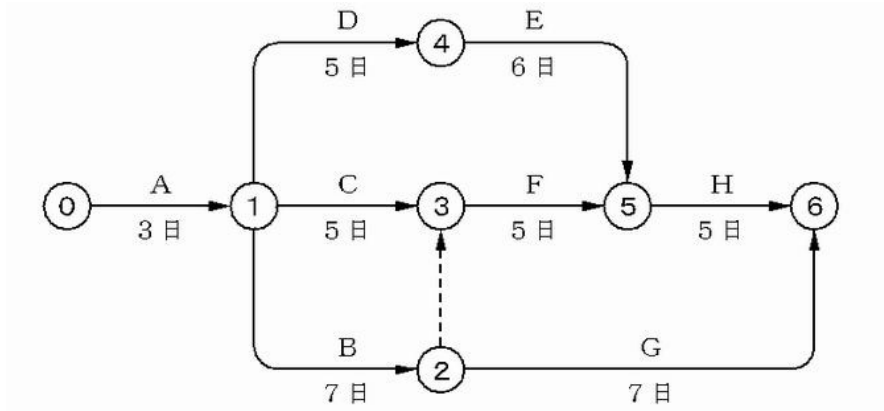
問題6 登録基幹技能者が担うべき OJT 等に関して、最も**不適當**なものはどれか。

1. OJT は、職場の上司が部下の育成のために、日常の作業を通して行う指導・教育である。
2. OFF- JT は、日常の仕事を離れて行われる集合研修・教育である。
3. OJT は、On the Job Training のことである。
4. OFF- JT は、Kick Off the Job Training のことである。

問題7 登録基幹技能者としてのコンプライアンスに関して、最も**不適當**なものはどれか。

1. 法令遵守は、家族や親族に対して極めて重要な社会的責任である。
2. プロジェクトチームのリーダーとしての役割を担う登録基幹技能者は、高い倫理観と法令遵守の姿勢が求められる。
3. 企業は、社内規則やマニュアルにも従って事業または仕事を行うことが基本である。
4. 企業の社会的責任を果たしているか、社会的要請に応えられているかという観点が重要である。

問題 8 次の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. この工程表のクリティカルパスは、A→B→F→Hである。
2. この工程表の工期は、20日である。
3. 作業Dのトータルフロート（余裕日数）は、1日である。
4. 作業Fの最早開始時刻（EST）は、15日である。

問題 9 新しい技術に関して、最も不適当なものはどれか。

1. デジタル写真測量技術は、三脚上に製図用の平板を水平にすえつけ、磁石で方位を一定に保ち、アリダード（測斜儀）で目標点を見通し、平板上に作図するものである。
2. トータルステーションは多くの工事現場において用いられる3次元測距儀で、トータルステーション本体からレーザー光線を飛ばし距離を計測する機器である。
3. 3次元レーザースキャナは、トータルステーションと同様にレーザー光により距離を計測する光波測距儀であり、機械から周囲にレーザーを連続的に照射することにより、周辺環境の3次元形状を高速で取得することが出来る機器である。
4. GNSS 測量では、緯度、経度、地球楕円体高の3情報が取得でき、3つの座標で位置を示すことを地理座標系と呼ぶ。

問題 10 施工管理における三大管理とその関連性に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 工程と原価の関係で、施工速度を上げ過ぎると突貫作業となり、逆に原価は高くなる。
2. 原価と品質の関係は、一般的に品質を良くすると原価は低くなるが、品質を下げると原価は上がる。
3. 品質と工程の関係は、品質の良いものは一般に時間がかかり施工速度は遅くなるが、品質を下げると施工速度は上がる。
4. 工程と原価の関係は、施工速度を上げると単位時間当たりの出来高が増え、原価は安くなる。

問題 11 施工要領書に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 施工要領書は、工事開始前に予想されるさまざまな施工上の問題を、工事の進捗につれてどのように対処すべきかを事前に検討するものである。
2. 施工要領書は、設計図書に明示されていないもの、もしくは各種の事業により明示しにくいものについて、現場条件を考慮して検討し、明示する。
3. 施工要領書は、特に品質の維持向上に重点を置くので、経済性については触れない。
4. 施工要領書は、現場環境、設備内容、工程等のさまざまな条件を考慮し、適切な施工方法を選定する。

問題 12 会社経営と工事現場の原価管理に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 請負契約時に、ある程度精度のある見積単価を算出して、利益予測を行う。
2. 見積原価の管理段階では、請負条件を明確にし、不明な点は質疑する。
3. 請負契約後、現場条件に合わせた施工計画を詳細に検討し、実行予算を作成する。
4. 実行予算を枠組みとして発注し、資機材や労務を管理するが、実行予算と実績を比較することはできない。

問題 13 専門工事業者の原価管理に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 近年の建設業界においては、技能労働者の社会保険加入率が低いことが大きな問題となっているが、技能労働者の処遇改善のため、業界だけで社会保険の未加入対策が進められている。
2. 国土交通省では、各専門工事業団体に対して、法定福利費の内訳を明示した見積書の作成を働きかけている。
3. 国土交通省は、「元請負人及び下請負人は見積時から法定福利費を必要経費として適正に確保することが必要」として、不当に低い請負代金にならないように指導している。
4. 見積書で内訳明示が求められている法定福利費の対象は、健康保険料、厚生年金保険料、雇用保険料のうち技能労働者の事業主負担分である。

問題 14 高い品質に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 多くの専門工事業者が分担して施工する建物の品質は、「品質は工程でつくり込む」という考えが重要である。
2. 最終的な品質の高さは、品質の高い工程を積み上げることで実現できる。
3. 建設物は社会的な資産として、多くの人々に長期にわたって使用されるものだが、完成時に高い品質を持つだけで十分である。
4. 発注者を始めとして、建設コンサルタント、設計・監理者、総合工事業者、専門工事業者、材料供給業者間で品質の考え方の共有が必要である。

問題 15 作業標準書による施工品質の確保・向上に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 建設現場の作業は、多くの技能者の個々の熟練や経験によって成り立っており、これだけ施工品質が確保されている。
2. 施工品質を確保し、向上させるためには、可能な範囲で作業の標準化を図ることも必要である。
3. 標準化した作業内容を文章化したものが「作業標準書」である。
4. 登録基幹技能者は作業標準を熟知し、機会あることに施工チーム内にその内容が効果的に伝達されるようにしなければならない。

問題 16 建設業法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設工事の請負契約の当事者は、各々対等な立場における合意に基いて公正な契約を締結しなければならないが、その履行についてはそれぞれの立場を利用して実施する。
2. 建設工事の契約の締結に際して工事内容や請負代金の額などを書面に記載し、署名又は記名押印して相互に交付しなければならない。
3. 注文者は自己の取引上の地位を利用して、その注文した建設工事を施工するために通常必要と認められる原価に満たない金額を請負代金の額とする請負契約を締結してはならない。
4. 注文者は、その注文した建設工事を施工するために通常必要と認められる期間に比して著しく短い期間を工期とする請負契約としてはならない。

問題 17 建設業法令遵守ガイドラインに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業の担い手を確保するために、処遇改善等を通じて建設業への若年層の入職を促進することが必要であり、政府一体となって元請下請間の取引適正化に取り組んでいる。
2. 赤伝処理等による一方的な代金の差し引き等、下請負人へのしわ寄せによって技能労働者への適正な賃金水準が確保できなくなるなど、建設業が持続的な発展を遂げる上で阻害要因となっている。
3. 「建設業法令遵守ガイドライン」は、元請下請間の関係に関して、どのような行為が建設業法に違反するかを具体的に示しているが、法律については元請・下請がそれぞれ十分理解することでしか解決できない。
4. 「建設業法令遵守ガイドライン」は、元請負人と下請負人との対等な関係の構築及び公正かつ透明な取引の実現を図ることを目的としている。

問題 18 ラス系下地の二層下地通気構法について最も不適当なものはどれか。

1. 平ラスは木造外装用として不適格であるが、ひび割れ防止の補強材としては部分的に使用する。
2. 防水紙に使用するアスファルトフェルトは 430 又は同等の性能を有するものとし、継目を縦、横とも 50mm 以上重ね合わせる。
3. ラス系下地の二層下地通気構法とは、通気胴縁の屋外側にラス下地板や面材を留め付け、その上に波型ラスをステーブルで留め付ける仕様である。
4. 波型ラスを留め付けるステーブルは、足の長さ 19mm の 1019J 程度のものを使用する。

問題 19 左官で使用するエマルジョンについて、最も不適当なものはどれか。

1. エマルジョンとは合成樹脂の粒子が水中に均一に分散している液体で、通常は白色または乳白色である。
2. エマルジョンは2倍～5倍程度希釈して使用することが通常である。
3. エマルジョンの3倍液とはエマルジョン1に対し3倍の量の水を入れて攪拌したものである。
4. エマルジョンは下地面とモルタルの付着をよくするため、吸水調整材として塗布する。

問題 20 法律・書籍に関するものとして最も不適当なものはどれか。

1. 「公共建築工事標準仕様書」の内容は、一般事項や仮設等の共通工事、施工方法、検査・試験方法など、公共建築工事の共通の事項および工法・検査等について標準的な仕様を取りまとめている。
2. 「建築工事標準仕様書・同解説」は日本建築学会が発行しており、通称「JIS」（ジス）ともいう。適切な施工標準を作ることを目的として工事の種類ごとに体系づけられ、JIS1 から JIS27 まであり、左官工事は「JIS15」となっている。
3. 「左官施工法 2020」は（一社）日本左官業組合連合会が発行しており、「建築工事標準仕様書・同解説」を基にした内容の副読本として、時代に即応しながら普遍的な基礎技能と知識を習得することに重点を置いている。
4. 「建築基準法」は、私たちが安全で快適に暮らせるためのルールを定めたもので、建物を建てるときに守るべき基本ルールが記載されている。

問題 21 既調合しっくいの施工に関するものとして最も不適当なものはどれか。

1. 既調合しっくいは、粉末状の調合したしっくいが主流だが、保水材、化学繊維などを混合したものや、ペースト状のものなどさまざまな製品がある。
2. せっこうボード下地で上塗りのしっくいを直塗りする工法や、下塗り材の代わりに吸水調整材だけを塗布する工法も一般に行うことができる。
3. 上塗りの仕上げ工法は、押え仕上げの他に、なで切り仕上げ、パターン仕上げ、色しっくい仕上げなどがある。
4. 日本漆喰協会による「既調合しっくい」の定義の一つに、主原料である消石灰は、ドライベース換算での全重量の、上塗り用は 70wt%以上、中塗り用は 50wt%以上含有しなければならないとされている。

問題 22 セメントモルタル塗り工法の記述について、最も不適当なものはどれか。

1. セメントモルタルは加水と同時に水和反応が始まり、温度によっても凝結時間が変化するので、可使時間は冬期 120 分夏期 60 分を目安とする。
2. セメントモルタルの調合は、下地側に塗られるものほど強度を高くする。
3. セメントモルタル塗りの表面仕上げは、タイル下地（モルタル張り・接着剤張り共通）は木鏝仕上げ、塗装下地・防水下地は金鏝仕上げ、吹付下地は刷毛引き仕上げとするのが基本である。
4. セメントモルタル塗付け後の急激な乾燥により、強度が低く接着力も不十分な塗り層となることは剥離の原因となり、この現象を「ドライアウト」と呼ぶ。

問題 23 現代しっくい施工要領（下地）について、最も不適当なものはどれか。

1. ジョイント部で石膏の露出部がある場合に塗布する合成樹脂エマルジョンプライマーは、エチレン酢酸ビニル系ではなく、アクリル系のプライマーを塗布し吸水調整を行う。
2. 木製壁下地に石膏ボードを留め付けるビスピッチは、ボード周辺部で 100mm、一般部で 150mm を推奨している。
3. 石膏ボードのスクエアエッジは、塗り壁の下地に最も適している。
4. LGS 壁下地に張り付ける石膏ボードは、床から天井まで 1 枚で張れるサイズを使用するか、ジョイントをずらした 2 枚張りとする。

問題 24 左官工事に関する記述について、最も不適当なものはどれか。

1. 左官の大きな特徴に、複雑な形状でも自由に形成することができる「展伸性」と、シームレスな仕上げが可能な「可塑性」という性質がある。
2. 左官工事の品質管理項目として、必要な強度と適当な表面硬度を有することが要求されている。
3. 付け送りとは、躯体の補修工事の一部として下塗りに先立ち、仕上げ厚を均等にするためモルタルなどで予め不陸を調整しておく目的である。
4. コンクリート打設の際、浮き水と共に浮上したセメント粒子からなる薄い泥状の物がコンクリート表面に形成した層を「レイタンス」という。

問題 25 左官工事の施工品質に関する記述について、最も不適当なものはどれか。

1. ポリマーセメントモルタルである下地調整塗材の CM-1・CM-2 を使用する時、気温が 0°C 以下になることが予想される場合は、作業中止をするか採暖等の適切な養生を行う。
2. ポリマーセメントモルタル既調合材料は JIS A 6916 の品質基準に適合するもので CM-1・CM-2 とする。
3. コンクリート表面は、はく離防止のための目荒らし、清掃を行い、脆弱層は除去する必要がある。
4. 近年の変性シリコン・エポキシ系の外壁タイルボンド張り工法の下地施工において、タイルボンドとエチレン酢酸ビニル系の接着増強材とは相性が悪いので、左官施工において接着増強材をプライマー施工時にはみ出ないように施工する。

令和6年6月19日
(一社) 日本左官業組合連合会
講習委員会

令和6年度甲信越ブロック会登録左官基幹技能者認定試験問題の誤りについて

令和6年6月15日に実施しました令和6年度甲信越ブロック会登録左官基幹技能者認定試験問題において、問題21、問題25の解答が複数あることが判明いたしました。

問題21、問題25は、不適當な問題であることから、採点につきましては、受験者にとって不利な扱いとならないよう、全ての受験者の解答を正答して取り扱うことといたします。

受験者の皆様、並びに多くの関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今後の出題に当たっては、万全の態勢で細心の注意を払い、再発防止に努めてまいります。

【お問い合わせ先】

(一社) 日本左官業組合連合会事務局
電話 03-3269-0560